

北陽同窓

会報 第31号

2009年3月31日

発行 関大北陽高校同窓会
 編集 同窓会広報委員会
 印刷 (株)キュー・プロダクト
 題字 関東支部 内海 昭

“新生”北陽、建学精神「知・徳・体」掲げ、関西大学と合併。 新たな第一歩を踏み出しました。

関西大学北陽高等学校 同窓会 会長 神山 興三 (昭和33年卒業)



同窓会会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動に対しまして、ご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

一昨年母校は関西大学と合併し、新生北陽高校として新しい第一歩を踏み出しました。

この合併による効果が、昨年の生徒募集に顕著にあらわれて、募集人員280名に対し、492名が入学を果たし、様相が一変し最悪の状況から脱して、今後は大いに期待が出来るものと思います。しかし、最近母校に出向いて感じることは、挨拶の出来ない生徒が増えている様に思います。北陽らしさが損なわれ将来に一抹の不安を感じるのは小生だけではないと思います。ぜひ母校の建学精神である「知・徳・体」を再認識していただき、礼儀を重んずる指導をしてもらいたいと思います。

同窓会は平成21年1月20日付で、正式に関大校友会の組織に加入了。関大一高同窓会とも兄弟校になりました。

同窓会の名簿管理業務は、関大一高と同様に関大校友会に委託し、一括管理してもらうことになりましたので、ご了承願いたいと思います。

昨年は同窓会始めての試みとして、卒業生と恩師との絆を緊密にする一環として、11月15日(土)、母校に於いて還暦同期同窓会を開催、

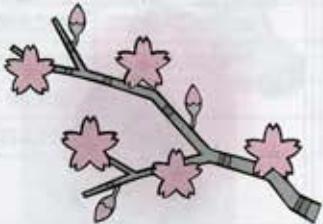
昭和42年の卒業生30名近い人が集まり、校長先生始め、当時担任の先生に出席していただき、校内施設見学会と、当時を振り返り一人ずつ近況を語り合い、和気藹々のもと盛会裡に終りました。今後は日を定めて毎年開催して行きたいと思います。ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成19年にホームページを開設しておりますが、昨年1年間のアクセス件数が約71万件、月平均で約6万件となり、当初の予定を大幅に上回る件数となり、大変好評を博しております。

同窓会報の件ですが、今回の31号までは無料で配布することになっておりますが、32号以降の発刊については、昨年の代議員会の議題として審議をしましたが、結論は出す役員会で継続審議になっております。将来的には有料にして協力金を出していただいている人については無料送付、また会報希望者には1万円程度で10年間送付する案も出ております。

皆様方のご意見等を拝聴し結論を出したいと思います。ご意見等を同窓会事務局までご連絡願えれば有難いと思います。

今後とも役員一同、同窓会発展のために全力投球していく所存でありますので、ご支援ご協力賜ります様よろしくお願い申し上げます。



この一年を振り返って



今年、関西大学と北陽高校という2つの大きなブランドが合併し、男子校から共学校に生まれ変わりました。昨年のある日、北陽高校にいらっしゃった関西大学 森本 誠一郎理事長(現:相談役)が、私にこう仰せられました。「何としても生徒の学力を伸ばして関大一高に追いついてほしい。スポーツは関大一高と五分五分。ただ、関大一高が北陽高校にかなわない点が一つだけある。それは生徒たちの挨拶だ。あれは素晴らしい。教員がよく躊躇している」

学力については中間層が伸びてきていて、1年を通してみれば何とか入学時の学力を維持しています。学力のこともさることながら、私がいま一番心配しているのは、関大北陽一期生の多くは挨拶ができない、ということです。挨拶のできることが北陽高校の伝統であり、学校を訪れた人がこぞって賞賛するのはこの点でした。挨拶の

関西大学北陽高等学校 学校長 鈴木 清士

できないこの子たちは、家庭内で挨拶をしないのだろうか、どんな人間関係の中で育ってきたのだろうか、と本当に心配なわけです。

女子も明るくて積極的な子が多く、羨ましい点では男子をはるかに凌駕し、その意味では皮肉にも1年生男子よりも「北陽生」らしいのです。しかし、一方では上新庄から本校までの通学路における交通マナーが悪く(仲良し同士で道路いっぱいに広がる)、地元から評判が悪いのも、また女子であります。

この4月からまた二期生が入ってきて、旧北陽の生徒は3年生だけになったとき、果たして「挨拶のできる、礼儀・礼節をわきまえたさわやかな高校生」がどれだけ残るか、これは北陽高校の伝統存続の危機ではないかと…という危惧が現実のものにならないよう、今からでもいい、教職員が力を合わせてしっかりと躊躇をしていかなくては、まずは教師が率先して生徒に挨拶をすることから始めよう、と決意をしているところであります。

本来なら家庭がすべき躊躇なんでしょうが…。



母校発展のため皆様と手を携えて

関西大学第一高等学校 同窓会 会長 田中 義昭

関西大学第一高等学校同窓会より関西大学北陽高等学校同窓会の皆様に始めてご挨拶申し上げます。昨年四月関西大学と福武学園北陽高等学校が合併し、共に関西大学の併設校として永くご高誼いただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



関西大学第一高等学校は、昭和二十三年四月関西大学附属高等学校として開校しましたが、前身校は関西甲種商業学校で、大正二年開校した歴史を持っています。貴校とは、糸島 實太郎、稻野 治兵衛先輩を始めとする、多くの関西大学関係者がおられ、心強く不思議な縁を感じております。

合併に先立ち、両校同窓会が懇談をし、今後の両校の組織のあり方を話し合い意見の交換をいたしております。早速、本会事業に神山会長並びに役員の皆様がご参加いただき、誠にありがとうございました。これからも、貴同窓会の皆様と手を携え母校発展を願い活動してまいりましょう。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



祝辞、卒業される皆さんへ贈る言葉

PTA会 会長 明星 直子



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆さま、息子さんのご卒業、本当にめでとうございます。また、先生方には三年間、大変お世話になりましたが、どうございました。さて、卒業生の皆さんは、私たちPTAが用事で学校に行ったときに、元気よく挨拶してくださったり、文化祭のときに署名活動に回ったときなど、素直に応じてくださったりした思い出があります。皆さんの持っている礼儀正しさや、素直なやさしい気持ちは、とても大切なものです。

どうかこれから社会に出られても、挨拶や優しさを態度に現して、周りの人たちを幸せな気持ちにしていっていただきたいと思います。また、元気に生活するために、野菜をしっかり食べて、よい生活习惯を守っていただきたいと思います。まだ簡単ですが、これにてご挨拶を終わらせていただきます。

卒業にあたって

生徒会会長 平成21年3月卒業 村上 和展

私が生徒会執行部を務めた三年間は、北陽高校にとって激動の三年間となりました。

特に、私が生徒会会长を務めさせていただいた昨年には、関西大学との合併により、関西大学北陽高校と学校名を改め、男女共学となったことで、校内環境や設備も新しくなり、また例年行われている学園祭などでも、多くの新要素が導入され、学校が大きく様変わりしました。

しかし、先輩方によって築き上げてこられた北陽高校の良き伝統と校風は、関西大学北陽高校となった今でも、しっかりと受け継がれています。そして、これからもこの高校を担ってゆく在校生の皆さんによって、代々引き継がれていくもの

と思います。

私は、伝統のある北陽高校と新生、関西大学北陽高校という素晴らしい両校に在籍することができました。その上、三年間生徒会執行部を務め上げることができたのは、光栄なことだと思っています。これからも関西大北陽高校が、より素晴らしい学校へと栄えていくことを祈っています。なお、最後になりましたが、卒業式の日には、同窓会より卒業生全員に素晴らしい記念品をいただきました。心より感謝申し上げます。



平成20年度 第31期定期代議員会だより

昭和17年卒業生から平成18年卒業生の代議員75名がご出席され、
熱心な議案審議が交わされました。

平成20年4月19日(土) 関西大学北陽高校1階大会議室にて



平成20年度 会計予算書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	摘 要
前 期 繰 越 金	7,916,587	
会 費	945,000	189名×5,000.-
会員・会報協力金	1,600,000	
代 議 員 会 費	300,000	60名×5,000.-
雑収入(受取利息他)	5,000	
総 合 計	10,766,587	

支出の部

科 目	予 算	摘 要
会 議 費	50,000	
代議員会議費	300,000	
人 件 費	400,000	
交 通 費	230,000	
消 耗 品 費	120,000	
通 信 費	1,200,000	会報31号等発送費
慶弔 費	100,000	
雑 費	350,000	コピー機リース代含む
予 備 費	100,000	
小 計	2,850,000	
会 報 発 行 費	1,200,000	会報・HP運用費含む
組 織 強 化 費	100,000	
事 業 運 営 費	200,000	
小 計	1,500,000	
合 計	4,350,000	
次 期 繰 越 金	6,416,587	
総 合 計	10,766,587	

平成19年度 決算予算

自 平成19年4月1日

至 平成20年3月31日

収入の部

(単位 円)

	予 算	実 績	摘 要
前 期 繰 越 金	11,172,933	11,172,933	
会 費	1,065,000	1,005,000	201名×5,000.-
会員・会報協力金	805,000	1,000,000	200名×5,000.-
代 議 員 会 費	205,000	180,000	36名×5,000.-
雑収入(受取利息他)	5,000	36,308	
総 合 計	13,252,933	13,394,241	

支出の部

科 目	予 算	実 績	摘 要
会 議 費	20,000	19,356	
代議員会議費	150,000	173,020	
人 件 費	500,000	500,000	
交 通 費	230,000	201,820	
消 耗 品 費	20,000	176,294	コピー機カートリッジ他
通 信 費	1,200,000	2,004,103	アンケート・会報等送付
慶 弔 費	50,000	50,000	陸上部・水泳部高校総体出場
雑 費	350,000	306,361	コピー機リース代他
予 備 費	100,000	100,000	硬式野球部甲子園出場
小 計	2,620,000	3,530,954	
会 報 発 行 費	1,200,000	1,929,220	アンケート・会報等発行
組 織 強 化 費	100,000	17,480	
事 業 運 営 費	200,000	0	
小 計	1,500,000	1,946,700	
合 計	4,120,000	5,477,654	
次 期 繰 越 金	9,132,933	7,916,587	
総 合 計	13,252,933	13,394,241	

関大北陽高校の新施設及びリニューアル施設ご紹介

家庭科教室

女子生徒の入学に備えて、家庭科教室と作法教室を4階に新設しました。家庭科教室には、最新の調理設備と映像機材を設置しました。



作法室

作法室には、茶道や華道を習うことができるよう疊張り座敷にし、茶道具・華道具を備えています。



生徒食堂

女子生徒の入学に備えて、全体の照明を明るくして、フロア、テーブル、椅子等も一新しました。また、従来の教職員食堂も第2食堂として、生徒に開放しています。



エントランス

男女共学に備えて、学校の正門や外壁を明るく美装しました。なお、始業から終業まで正門に警備員が常駐しています。



その他

女子更衣・シャワー室、女子トイレを新設、男子トイレはリニューアルしました。

(記: 本校教頭 手嶋正雄)

卒業生の進路状況

大学名	人数	大学名	人数
関西	14	大阪保健医療	1
関西学院	5	大谷	2
龍谷	1	大手前	2
京都産業	3	関西国際	1
近畿	7	京都橘	1
関西外国語	5	近畿医療福祉	1
大阪経済	11	神戸国際	4
神戸学院	4	神戸夙川学院	1
摂南	3	尚美学園	1
佛教	1	中央学院	1
桃山学院	6	中京	1
愛知学院	1	帝塚山	2
追手門学院	10	帝塚山学院	1
大阪学院	6	天理	1
大阪経済法科	5	奈良	1
大阪国際	6	奈良産業	1
大阪産業	19	阪南	7
大阪商業	3	びわこ成蹊スポーツ	1
大阪成蹊	1	流通科学	1
大阪電気通信	1	合計	143

短期大学名	人数
大阪青山短期	3
関西外国語短期	1
合計	4

専門学校の主な進学先

ESP・アミューズメントメディア総合学院・大阪航空技術・大阪社会体育・大阪スクールオブミュージック・大阪法律・職業訓練校・トヨタ自動車・日産自動車・明治東洋医療・履正社スポーツ

主な就職先

大阪府警・自衛隊・ガンバ大阪・トヨタ自動車・伊藤園・サンテリカ大阪事業所・木曽路・凸版印刷関西・日本通運・大阪国際輸送支店・淀川製鋼大阪工場・守口ロイヤルパインズ・城之崎・国民休暇村・つばめ急便・住友電工

大学名	過去5年間	大学名	過去5年間	大学名	過去5年間
■大阪教育	1	大阪国際	43	尚美学園	1
■東京芸術	1	大阪産業	156	城西国際	1
関西	39	大阪商業	20	成安造形	1
同志社	1	大阪成蹊	8	聖和	7
関西学院	9	大阪体育	12	相愛	4
立命館	2	大阪電気通信	11	第一薬科	2
龍谷	19	大阪人間科学	11	太成学院	6
甲南	2	大阪保健医療	1	高松	1
京都産業	65	大谷	4	宝塚造形芸術	5
近畿	60	大手前	49	中央学院	3
関西外國語	27	金沢工業	1	中京	2
京都外国语	6	金沢星稜	1	中京学院	1
大阪経済	65	関西国際	1	鶴見	1
大阪工業	7	帝塚山	6	帝塚山	14
神戸学院	35	関西福祉科学	2	帝塚山学院	12
摂南	51	吉備国際	1	天理	12
佛教	6	九州産業	1	東京電機	1
桃山学院	25	京都学園	7	長浜ハイオ	1
愛知学院	2	京都精華	1	名古屋商科	1
藍野	1	京都創成	1	奈良	1
芦屋	1	京都橘	1	奈良産業	4
英知	2	京都文教	2	新潟薬科	1
追手門学院	91	近畿医療福祉	5	八戸	1
大阪大谷	2	甲子園	7	花園	2
大阪学院	34	神戸国際	27	阪南	40
大阪河崎リビリテーション	1	神戸夙川学院	1	姫路獨協	2
大阪観光	2	神戸山手	1	兵庫	4
大阪経済法科	24	四天王寺国際仏教	8	びわこ成蹊スポーツ	6
大阪芸術	2	淑徳	1	フルール学院	2
				福岡	2
				北陸	2
				北海道情報	1
				明治鍼灸	2
				酪農学園	1
				流通科学	5
				麗澤	1



在学中の思い出



在学中の思い出



昭和58年卒業
山口 茂

私は、昭和56年から58年まで北陽高校に在席していた。学校は、その2年前の54年に下新庄から上新庄に移転し新校舎が完成。綺麗な新しい校舎で学んだ。当時、私達の学年は15クラスとマンモス校の時代で、野球で始まり野球で終わる日々を過ごしていたが、その大半はグラウンドだった。北陽

で野球がしたい、甲子園に出たいと北陽高校に入學、硬式野球入部希望者は体育館前グランドに集合との校内放送に、ときめきながら出てみるとグランドは人で埋め尽くされ、気が遠くなるほどだった。200人ほどいた新入部員も厳しい河川敷での体力づくりで、あっという間に減り、卒業時には60人になっていた。練習は校内グランドでサッカーハーフと共に行なっていて、私達が引退した翌年より揖斐市の第2グランドが完成、公式野球場とテニスコートが設置された。2年の夏に甲子園出場をめざし、3連覇を目指してきましたが、残念ながらベスト4に終わってしまった。楽しいことより苦しい思い出の方が多いが、野球で培った忍耐力・精神力は今の生きる糧となっている。私は3年間、現校長の鈴木先生が担任で、当時まだ若いこともあって兄のような存在で生徒から大変親しまれ、人望も厚かった。あれから26年経った今でも、鈴木先生はじめクラスの仲間、クラブの仲間とは交流がある。当時、監督の松岡先生は規律や礼儀作法を重んじ、その指導のもとで人間形成を育み、今日があると思う。北陽高校という素晴らしい学校で過ごし、学べたことが私の誇りである。

3年D組荒木学級の思い出

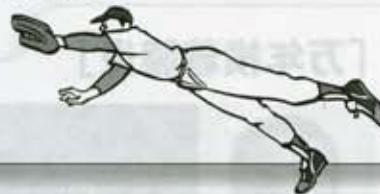


昭和52年卒業
藤田健司

私は北陽高等学校との出会いは、昭和48年に硬式野球部が夏の全国大会に出場したのが始まりです。昭和49年に北陽高校に入學し、昭和52年に卒業するまでの間、本当に様々な思い出がありました。その中でも昭和50年～昭和52年卒業まで在籍した荒木学級の事は強烈に記憶が残って

います。昭和50年当時は、クラス編成が文系コースと理数コースに分かれ、私は文系コースでした。クラブ活動はしていなかったが、その分勉強し、2年在学の中間考査では学年1位を獲得しました。けれど、当時担任の荒木先生（2年前にご逝去）から、ただ教科書だけの勉強だけでなく実力養成が肝要だと。勉強方法が分からず頻繁に職員室を訪れた事も忘れないし、担任だけでなく国語担当の関西学院大学出身で非常勤講師の大田先生（現梅花女子大教授）にも勉強のやり方などを教えていただきました。昭和52年2月関西学院大学の受験の

際は「テストの出来ばえはどうだったか」と食事をしながら話をしたことは、昨日のように思い出されます。結果は不合格でしたが（笑）。先生は、卒業して32年になる私のことを、今でもよく覚えておられ、年賀状のやりとりも続けています。まだ、書きたいことは色々ありますが、最後によきご指導をいただきました先生へ感謝を申し上げ、これにてペンを置きます。



陸上部での活動が私を育てた



昭和50年卒業
中尾 明

北陽高校に入學したら必ず陸上部に入って長距離をしたいという強い意志があり、米川修二先生（現：陸上部監督）と出会った。米川先生は着任1年目で、前任の先生から陸上部顧問を引き継いで指導でした。その時の陸上部は、僕ら1年生は6名、上級生も含め10数名の少人数でしたが、熱心に指導していただけた。しかし、リレーなどは

最少人数で組めましたが、駅伝大会には出場できず残念な思いでした。2年生になると下級生が入部し、長距離部員も10名に増え、大阪高校駅伝大会に登場し、いきなり第3位の好成績をおさめました。北陽高校陸上部は伝統があり、先輩たちも幾度となく優勝のチャンスがあったようですが、私たちが第3位という成績を挙げたことを大喜んでくれました。そして、3年時には大阪インターハイ（5000M）で3位入賞し、大阪高校駅伝大会では、2年連続3位になることができました。このことが、きっかけで大学に進学、大学でも良い成績を残し、卒業後は実業団に進むことができました。私が、この陸上に長く関わることになりました。

ことができたのは、北陽高校での三年間で基本を叩きこんでいただいた米川先生と故堀江先生（当時：陸上部部長）のお蔭と感謝しています。今こうして仕事ができるのも、陸上で色々と教えていただいたことが役に立ち、現在高校陸上部OB会長、大学では陸上部OB会理事、会社では陸上部OB会顧問を務め、とても嬉しく、光栄に思っています。これからも関大北陽陸上部が、ますます発展するよう支援・協力をして恩返しをしたいと思っています。全国高校駅伝大会に、もう一歩というところが何年か続いているので、今年は大阪代表として都大路を駆け抜けるよう頑張ってほしいものです。

在学中の思い出

思い出深い学生生活



昭和45年卒業
国府島勇三

私が北陽高校に入学したのは昭和42年で、当時の校舎は下新庄の住宅地に4階建ての円形校舎をはじめ3階建ての鉄筋校舎等がありました。敷地自体が狭かったことから、上新庄（現：校舎）に体育館とプール・グランドが設置されており、体育の授業や部活に行く時などは走って行かされた記憶があります。また、当時の先生方もいろいろと個性がありました。例えば、社会担当の先生などは、冬でも教室の空気が激んでいるという理由で窓を開けて、バケツに水を汲んできて教室の床に撒い

たり、テスト用紙の返却時には一人ずつ名前と点数を発表して返されたことを思い出されます。北陽高校は、伝統的に挨拶ができる学校で、校則も厳しく、最寄りの阪急淡路駅から学校までの通学路に風紀委員や風紀担当教員が生徒の服装（学生帽から学生服・ズボン）及び靴を毎日チェックされたことを思い出されます。



在学中の思い出と今日この頃



昭和45年卒業
北川 徹

昭和41年入学、1年時はE組、担任は金澤 洋先生で社会を含む規範を教わり、2年・3年時はC組、担任は佐藤 誠一先生で社会に向かっての心構えや情を教わりました。昭和44年ごろは好景気で、就職は職種を選ばなければ大企業を5社ほど受取できた時代で、翌45年には万国博覧会が北千里で開催されました。私の父は早く他界し、母・

弟・祖母の4人家族。小学校時代から表札は、私の名前で出ており、精神的な重圧を感じながら父がいない分だけ、自然に前向きに考え行動するようになっていました。

中学を卒業したら経済的理由から就職も考えましたが、母との約束で授業料と身の回りを自分で貯めることで新聞配達等をしながら、北陽高校に入学させていただきました。1年時の成績はそこそこでしたが、2年時の成績が就職採用試験先に提出されるということを聞き、授業で解らないところは、その日に理解できるよう努めました。学生生活は高校で終りましたが、北陽高校で得たことは先生（恩師）に出会えたこと、また友

に恵まれたことです。昨年は、同窓会の事業活動で還暦同期同窓会が行われ、金澤先生にお会いすることができ、当時の家庭の事情を語らう胸が熱くなりました。

今年は佐藤先生にもお会いすることができ、また格別な思いで手を握らせていただきました。また、クラスメイトとも半年に1回程度で4~5人が集まり親睦を深めています。今思うと当時、佐藤先生が同窓会事務局長の職務を兼務されていたのがきっかけで、微力ながらお手伝いをさせていただいたことが、自らを高められていると思うと感謝の毎日です。

合掌

「万年横着膜炎」



昭和35年卒業
岡田武志

学校から呼び出しを受けた母は、「タケシ君は病気にかかっていますね」と八田 広次先生に告げられた。母は驚いて、何の病気にかかっているのですか？

すると八田先生は、私の見立てによると「万年横着膜炎」という病気です。耳慣れない病名に、キヨトンとしている母に、先生は「遅刻の常習犯」です、ご家庭で早寝、早起きの習慣をお願いしますと注意され、帰宅した母に叱られたのを思い出しました。始業ベルが鳴り止み、静まりかえった校庭を走り抜けて教室に駆け込む日課でした。ハラハラ、ドキドキが快感で、今日も学校に来たぞとい

う実感が持てる瞬間でした。この病気「癖」は卒業するまで完治せず、八田先生も最後は諦め顔で「君は特別や」もうええはと許してくれました。社会人になっても、この癖は治りませんでした。困りました。困ったのは私ではなく、会社が困ったのです。「おはようございます」といつても誰も返事をしてくれません。

ここは学校ではない、少なくとも給料をもらっている会社員です。当然です。このままでは組織で生きていけません。悩みました。病気「癖」を治そうか、それとも自由業として自分で時間のコントロールが出来る仕事かと、会計事務所に転職しました。22歳の春でした。ここから猛勉強が始まります。同世代は青春を謳歌している頃です。仕事と勉学に明け暮れる日々が続きました。あっという間に数年が過ぎ、気がつくと病気「癖」も完治していました。合格率2%の税理士国家試験にも合格し、独立開業して32年が経過しまし

た。「人間万事塞翁が馬」といいますが、良いと思ったことが悪かったり、悪いと思ったことが結果的に良い方向にと、人生を振り返ってみても、本当にそのとおりだと思います。良いも、悪いもなく結局はすべてが一つの「出来事」にすぎないのです。大切なことは、その出来事から何を学び、どう生かすかということだと思います。自由業を選択したこと、ある程度自分で時間コントロールが出来ます。年間数回の国内・海外旅行と年間70ラウンドのゴルフを楽しんでいます。私にとって、今が青春真っ只中といったところです。



在学中の思い出



栗原貞雄
昭和42年卒業

私の実家が尼崎でしたので、阪神電車で出屋敷から阪急電車での通学は楽しい毎日

でした。3年生から学級委員長になり、何をしたのか記憶がありませんが、修学旅行の積立金をクラスの人から集め銀行に入金したときの緊張感を思い出します。野球が好きだったので、クラス中からメンバーを集め、扇町公園で他のクラスとよく試合をしました。私はピッチャーで一番、よくホームランを打ったことを思い出します。専攻は商業科

先生、ありがとうございました。

卒業される皆様及び現役生徒の皆様へ



端田直樹
平成18年卒業

私は3年間生徒会の書記を務めさせてもらいました。私が生徒会することになったきっかけは、一年生の時の担任だった先生に立候補してみないか?と言われ何気なく立候

補したのが始まりでした。私にとって高校生活の思い出の殆どが生徒会のことです。生徒会の仕事は辛くて疲れることばかりの仕事でした。しかし、そのお蔭で大抵の辛いことは耐えられるようになりました。それに自分の価値観、世界観がとても広がりました。皆さんも今までやつたことのないことにチャレンジしてみてください。それにより自分の中の世界が広がると思います。

昨今の教育社会や世間は皆が同じ答えを持たなければならぬという教育がなされています。しかし、私は間違っていると思いまます。人の心には皆自分だけの天秤を持つているものと私は考えています。何を乗せようと頗くかはその人の価値観や考え方であり、それが「個性」だと思います。ですから皆さんも自分の考え方や思いを大切にし、周りに流れされることなく、そして固定概念に縛られず、視野狭窄に陥ることなく、世界を広く見て自分自身の生活を満喫して下さい。

人との出会い



竜田洋
昭和35年卒業

私は、「人との出会い」を大切にしている。昭和32年北陽高校に入学し担任教員・八田廣次先生との出会いが、私を奮起させ、やる気を起させた。北陽高校の建学の精神である「知・徳・体」をじっくりと説明された。勉学で得た知識を智恵として活かし、人の為に徳を積むこと、そしてそれを実践するた

めに健全な身体をつくることが大事なことであるといつた。卒業後、松下電器産業(現・パナソニック)の関連会社のナショナル証券(現・SMBCフレンド証券)に入社し、北陽高校の建学の精神を基本として実践し、大きな業績を上げることができた。

私が39歳の時、松下电工(現・パナソニック)会長・丹羽正治氏と出会いの機会を得て、その後も懇意にしていた。ある日、丹羽会長より松下電器産業(現・パナソニック)の創業者である相談役・松下幸之助氏と直接の面談の機会を得ることができ、松下の経営哲学、経営理念、商いの心得、不況克服の心得等々を教示いたいた。松下相談役は、お客様の声に耳を傾け、心で聴くようにし、今日得た知識を智恵に活かし、多くの人のために役立て実行するよ

うに、徳積みの大切さのお話を耳に聴きを受けたことは自分自身の大きな財産となつた。このことは北陽高校の建学の精神と重なっています。

私は、これまで出会った方々に深く感謝申し上げるとともに、これから残りの人生も、人との出会いを大切に、健康に留意しながら、人さまの土台として支えさせていただくべく努めてまいりたいと思っています。

恩師を語る
池永博文
昭和42年卒業

私の恩師、佐藤誠一先生との出会いは2年生の担任になりました。当時は2年・3年とも同一クラス、同一担任で2年間先生に、ご指導を仰ぎました。先生との思い出は、沢山ありますが、特に下記の3項目について語らせていただきます。

○就職活動

当時の北陽は、大半が商業科で卒業後就職する人がほとんどでした。3年生の5月ごろから各企業の募集が始まり、先生と相談して数社採用試験を受けましたが、ことごとく不採用になりました。その時も私を励まし、「自信を持て」「諦めるな」と勇気づけられ、次の就職探しに熱心に取り組んでいたとき、お蔭さまで見事に自動車販売会社に合格いたしました。

○先生との約束

卒業後、何回か先生と会う機会があり、近況を報告していました。その後、20数年経てお会いした時に、「先生!俺、課長に昇進しました」と報告しますと大変喜んでいただきました。

そして、次を目指して頑張れと励まされ、とても嬉しかった。私は「俺、部長になる」と約束し、50歳すぐに部長に昇進したこと報告すると、自分の子供のように喜んでいただきました。

○出世

部長に昇進後、役員を経験し、現在は子会社の代表をしておりますが、これも先生の人間味のあるご指導と、北陽高校の厳しい規律のお蔭と大変感謝いたしております。

以上が先生への私の思いですが、最近しばらくは仕事に忙しく、ご無沙汰をしていますので、これを機会に一度先生にお会いしようと思っています。

最後に、私の人生で大影響を受けた佐藤先生と人の痛みが分かる人間育成をご指導いただいた北陽高校に感謝申上げます。



還暦の再会

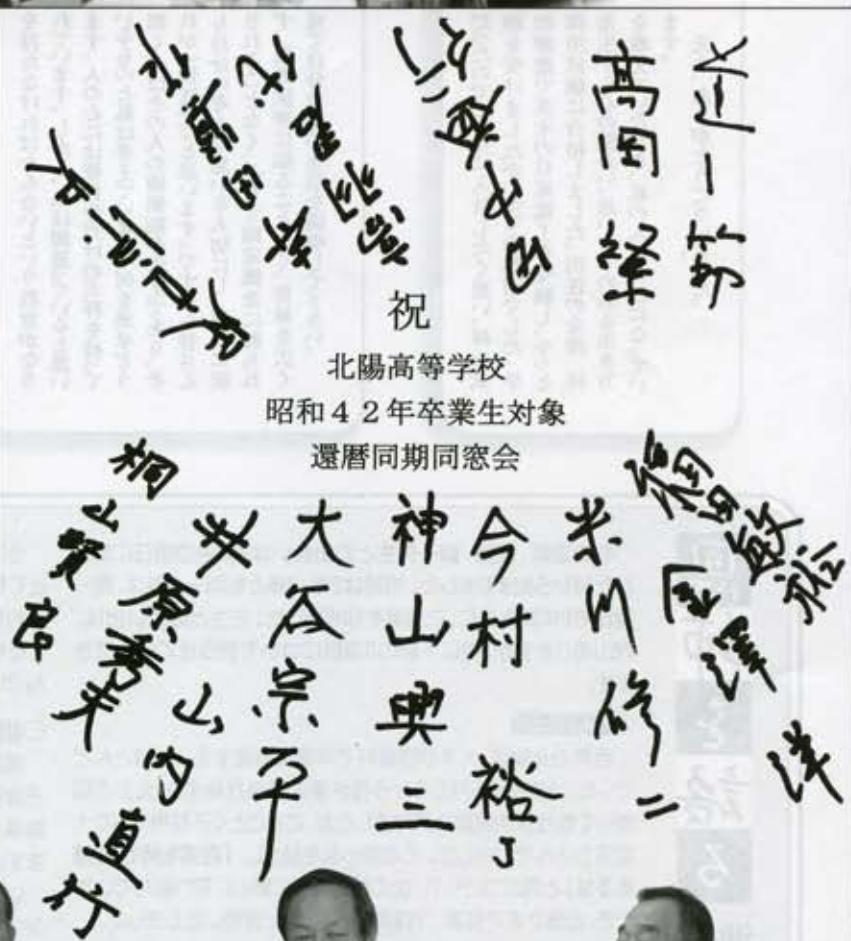
昭和42年度生

還暦と古希の再会



前校長
大谷 宗平

昭和42年の卒業生が還暦を迎える年となり、その同期生会が開かれるということでお招きを受けました。この同期生が入学されたのが昭和39年ですが、この年に実は私も北陽高校に赴任し、教師としての第一歩を踏み出しました。甲子園初出場を果たした学年でもあり、私の母校が米子東高でしたから、我が青春時代もオーバラップして真に思い出深いものがあります。

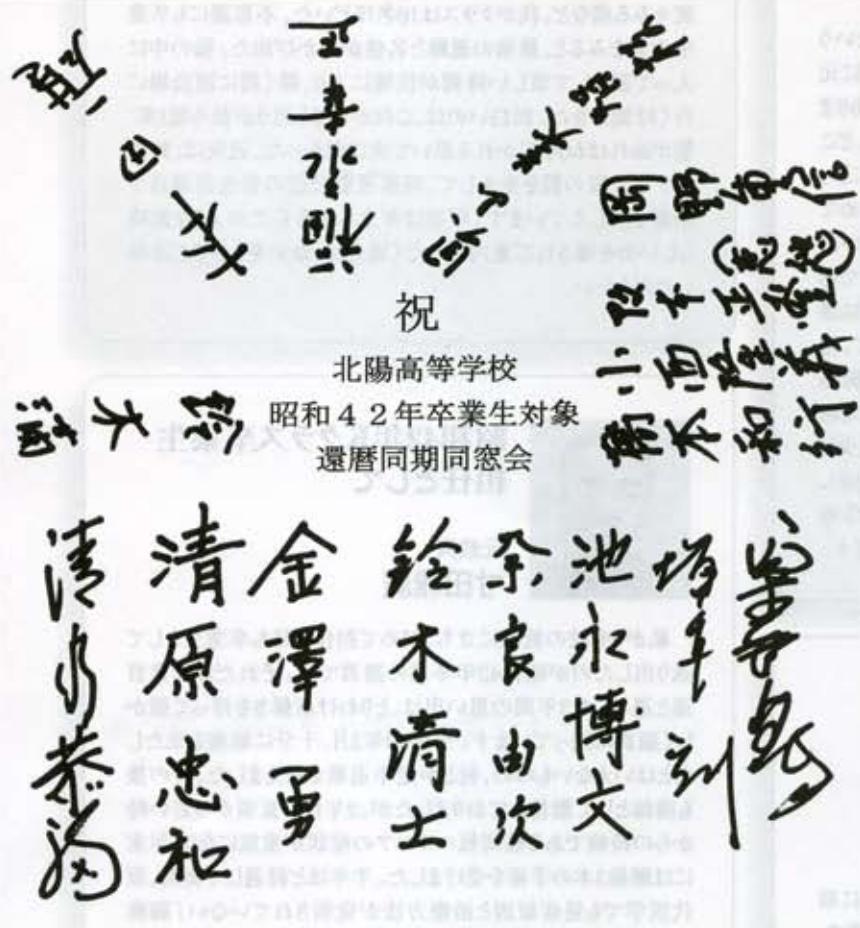


皆さんが還暦を迎えるということに加え、私も古希を迎えるところとなり、随分と年月が過ぎ去っていたのだと、しみじみとその歩みを改めて思いました。さて、退職して早くも4年が過ぎました。在住の豊能町には実に西公民館登録だけでも180に及ぶ地域文化サークルがあり、生涯学習への高齢者の参加活動には熱気があります。私も幾つかの活動に参加していますが、

その基本は豊能の豊かな自然を歩き、北摂の歴史を深め、地域の人々とのつながりを広めていくこととしております。

私は山陰米子の出身ですが、この地を第二の故郷として毎日を送っていこうという、身も心もようやくできつつあります。この地より同窓の方々、現役の生徒諸君の活躍を見守ってまいりたいと思っています。

昭和43年卒の方にお知らせ
— 同期同窓会告知板 —
開催を11月に予定しています。
第一回目は手探り状態のため、反省点は多くありました。
今回からクラス会をされるいる幹事の方、お力を貸して頂ける方は同窓会事務局までご連絡下さい。よろしくお願ひします。



昭和42年度生 還暦の再会

祝 元教員からのメッセージ



還暦同期同窓会の感想と近況

元教頭
金澤 勇

卒業後42年ぶりの還暦同期同窓会、私も73歳という年で楽しみにして出席しました。出席者全員が非常に元気であり、仕事に活躍されていたのでしょうか、賛頃がありました。また、60歳になっても学生時代の面影は必ず、どこかに残っているもので誠に懐かしく感じました。私にとって当時の思い出は、硬式野球部が甲子園出場を初めて決めたことで、話を進める中で各人がそれぞれの思い出話を聞かせてくれました。それは、誠に楽しいひと時でありました。このような会を催していただきました事務局に感謝いたします。近況は、埠防犯協議会副会長として、地域の安全・安心の街づくりの一翼を担っています。関係者の協力・努力があって、埠地区は街頭犯罪件数の8項目(ひったくり・車上荒らし等)全て、前年度比較で減少しています。その他、町長・母校高校理事(非常勤)をしており、趣味は旅行、一人旅で近年はロシア・エジプト等に行きました。その他ゴルフや社交ダンスを楽しんでいます。

まことに印象深い学年でした

元教員
奈良由次

私が北陽高校に着任したのは昭和38年、翌39年に初めて担任したのが1年I組でした。大変な生徒の急増期で、円形校舎の教室に60名近い生徒がいました。ヤンチャな奴も多かったがみんな坊主頭で可愛いかった印象が残っています。生物、化学、数学を担当していたのですが勉強の方はともかく、毎日生活指導面で奔走していたことを思い出します。昭和41年夏、この学年が3年生の時、硬式野球部が初めて甲子園出場を果たしてくれた、まことに印象深い学年でした。この学年の卒業生が還暦を迎える、同窓会より案内状をいただいたとき、改めて時の流れの速さを実感しました。会が始まり、出席者全員から当時の思い出話や近況報告を聞き新たな感慨に浸った次第です。退職後は北陽での38年間に感謝しつつ、趣味に興じる日々を過ごしております。昨年本校は関大北陽として新たな出発をしたのですが、今後も知、徳、体の調和のとれた人間形成という建学の精神のもとに良き伝統は引き継がれることを確信し、同窓会のますますの発展を祈っております。



還暦同期同窓会に出席して

元教員
金澤 洋

還暦同期同窓会を催すこと、出欠の申し込み締め切り日の2週間ほど前に連絡をいただいた。別件の会合に出席の返事を出していたので予定表を見ると、2時間ほど時間が取れそうなので、迷ったが顔を出してみた。卒業後、初めての顔、度々見る顔など、我がクラスは10名ほどいた。不思議にも卒業生の顔をみると、最初の進路と名前が浮かび出た。輪の中に入って話をして楽しい時間が佳境に入り、瞬く間に別会場に行く時間がきた。面白いのは、これからだと思うが後ろ髪(笑:髪があればね)を引かれる思いで次に向かった。近況は、将棋のアマ五段の腕を生かして、将棋連盟公認の普及指導員で余暇を楽しんでいます。年寄は苦立ちが多く、このような素晴らしい会を催されご案内いただく場合は、余裕をもってご連絡いただきたい。



昭和42年Kクラス卒業生 担任として

元教員
寸田雅廣

私が、本校の教壇に立ち、初めて担任を持ち卒業生として送り出したのが昭和42年卒業の諸君です。それだけに貴君達と過ごした3年間の思い出は、とりわけ新鮮さを伴って懐かしく脳裏に残っています。平成10年3月、十分に職務を果たしたとはいえないものの、何とか定年退職を迎えました。その後も講師として勤務しておりましたが、2年目の夏頃から若い時からの持病である椎間板ヘルニアの症状が重篤になり、年末には腰椎3本の手術を受けました。半年ほど経過して突然、現代医学でも発症原因と治療方法が明確されていない「胸椎黄色靭帯骨化症」という難病が発現し、胸椎3本を切除しました。加えて半年後、「頸部頸椎脊柱管狭窄症」に冒されているのが判明、頸椎5本を入れ替える手術を受けざるを得ませんでした。結局1年半に脊椎11本の手術を受けたことになります。最後の手術後、各部位に激痛、痺れ、強張り、麻酔等の後遺症が発生し、筆舌に尽くし難い激痛に苛まれています。時には一歩たりとも自宅から出られない日もありますが、症状が軽度の時はリハビリに通院しています。幸いにも、ごく短時間の運動が可能な日もありますが、殆ど毎日閉塞的な生活を送っているのが現状です。小生にとって教え子は、何にも代え難い貴重な財産です。教え子が来宅してくれて、話を交わしていると背負っている痛苦を忘れて、最も楽しい時間を過ごせるのです。もし、こんな閉鎖的な生き地獄の生活を送っている老人の話し相手にでもなってやろうと思われる方は、電話で連絡の上、ご来宅ください。心からお待ちしております。参考までに電話番号を記載しておきます。

TEL077-525-7886

還暦の集いに参加して



久しぶりに仲間と再会し、楽しい時間を過ごしました。

本校教員 昭和42年卒業
山内直行

昨年11月、久しぶりに仲間と再会し、楽しい時間を過ごしました。また、鈴木校長をはじめ当時の担任であった大谷 宗平、金澤 勇、金澤 洋、奈良 由次の各先生方のご出席をいただき、夜間部の同年卒業の4名を含め30名が集まりました。全員が60歳を迎え、年相応の体形になり、また頭が白くなっている者、薄くなっている者、改めて42年間の年月を感じました。本校卒業後、一度も会わなかった同窓生もいましたが、何となく高校生時代の面影を残しております。丸坊主で黒い学生服を着た現役時の姿をすぐに思い出させてくれます。還暦同期同窓会では、担任の先生方のご挨拶と出席者全員が当時の担任や

生活指導の先生から怒られたことなどの思い出ばなしを交え、近況報告がありました。話を聞きながら、私は円形校舎の殆ど通路のない教室で授業を受けたり、休憩時間に級友と話し合ったこと、甲子園の炎天下で応援したこと、クラブ活動で疲れ果てて夜遅くに帰宅したことなどを思い出し、時の経つのも忘れていました。当時はヤンチャな生徒もいましたが、松岡 英孝先生、野々村 征武先生はじめ諸先生方の、「時には厳しく愛情のあふれた」ご指導を受け、世間知らずの我々に人間としての模範を示していただいたように思います。校風も牧歌的で生徒はのびのびとしていて、大らかであったと思っています。本年度から関西大学北陽高校となり、男女共学でスタートしました。当時若くパワーのあった先生方も定年退職され、昔の北陽のイメージはなくなりましたが北陽の文化・伝統は受け継がれています。本校出身の教職員も、いつの間にか米川教頭と私が最古参になりました。これから生徒達には、学力の向上だけでなく、人間としての模範を身につけ、良い思い出づくりをして欲しいと思っています。

同期同窓会に参加して



京仏師
昭和42年卒業
坂本恵悠

昭和42年に卒業(商業科担任金澤 洋先生)して以来、母校を訪問していません。今回の企画がなければ訪問する機会は無かったと思います。校名が改称された実感は男女共学だけでなく、施設の立派さ(当時と比較)にもびっくりしました。

私は京仏師で、仏を彫る仕事をしています。同級生から何故仏を彫るのとよく聞かれます。私も商業科を卒業して、普通のサ



ラーマンを目指していたと思いますが、体調を壊したことがきっかけで、全く知り合いもなく、ただ入門したい一身で弟子入りしました。

7年半の修行で独立、この道40年になります。大きな夢をもって入門しましたが、自分の力の無さを考えると、まして一匹狼ではとより感じさせられます。でも自分の作品・名前が何百年絶ても残るという最高の仕事だと思っています。

個展を開いていますので機会があれば見に来てください。
(工房／豊中市刀根山元町7-4 06-6845-1117)

還暦同期同窓会 ご出席者のご感想

●Cクラス 清原 忠和様

久しぶりに母校へ来て、懐かしく、また嬉しいと思いました。母校の、ますますの発展を期待します。

●Dクラス 清水 恭福様

参加者が多少少なかったのが残念ですが、今後も定期的に開催されることを望みます。

この機会にクラス同窓会を行ないたいと思います。

●Eクラス 田中 益行様

また、ぜひとも開催してください。

●Fクラス 増本 訓様

本日、思い出の先生方とお会いで、とてもなつかしく思った。5年・10年後も機会があればお会いした

いです。お元気で!

●Eクラス 岡野 重信様

これからも、同期同窓会を開催してください。

●Fクラス 本田 一雄様

楽しかったです。

●Gクラス 橋本 和行様

大変懐かしい一日でした。

●Jクラス 今村 裕様

クラスメイトは一人参加で、級友(旧友)とも語りたかった。

●Kクラス 井原 秀夫様

みんなの思い出が楽しく、学校も男女共学で、いろいろと変わったなーと思われます。

●Lクラス 福田 敏裕様

久しぶりに皆さん方と会えて、42年の年月がなくなったような気がした。

●Mクラス 桐山 賢良様

参加させていただき、ありがとうございました。

ざいました。また、同期同窓会があれば参加させていただきたい。

●定クラス 奥山 美智枝様

40年以上になりますが、高校生に戻ったようで楽しかったです。

●定クラス 高羽 君代様

ありがとうございました。楽しいひと時でした。人生について、模範について感謝の意が開けてよかったです。いつもお元気で、またのおめじを楽しみにしています。

教室もいろいろと見学させてもらい、時代の違いを感じました。



同窓の近況

昭和37年Hクラス卒業生によるクラス同窓会

昭和37年卒業 吉木 栄次

人生の欄印(65歳)を迎えて、セビア色に輝く仲間10人が、勇躍46年ぶりに再会を果たす。

恩師 杉浦 康之助先生は、自体に三つの爆弾を抱え無念の欠席。
 「人に歴史あり、会に歴史あり」と申しますが、今回は初回、今回の開催の声が高まるなか、盛大な二次会を終え健康・感謝・発展と次の再会を記念し散会した。



昭和37年Hクラス同窓会(敬称略)

後列左より上野 昇、三好 安治、木原 義一、山道 孝雄、川崎 勝
 前列左より角村 和良、保田 昭夫、米倉 孝之、壇辻 正隆、吉木 栄次



昭和37年生 在学中の思い出

昭和37年卒業 村田 正明



昭和34年4月入学し、早いものでいつしか50年が過ぎた。思い出をひとつ、ひも解いてみたい。入学当初の教室は古い木造の2階建て校舎の一室奥まった線路側の1階だった。担任は英語の宮崎 稲先生で、クラスには約60人ほどの同級生が、各地の中学校から集まっていた。

本当に賑やかで、また先生も教育・生活指導に大変熱心で、私たち同級生は、当初色々とご迷惑やご心配をお掛けしたが、卒業後のクラス同窓会には先生に何回か、ご出席いただき在学中の思い出に花を咲かせている。クラブ活動はボクシング部に所属し、円形校舎の4階ホールにリングがあり、放課後毎日練習をした。円形校舎の西隣に「北陽湯」という銭湯があり、よく相撲部の連中と汗を流して帰るのが楽しみであった。昭和35年度の大坂府の大会で団体優勝したのもよき思い出のひとつです。当時は、全日本チャンピオンをはじめ輝かしい実績の先輩達がおられたが、今は残念ながら廃部となっている。関西大学との合併を機会に 森本理事長(現:相談

役)から再興要請があり、平成20年5月16日母校の食堂においてボクシング部OB会を開催し約15名の出席があり、鈴木校長からもご挨拶いただいた。OB会は大いに盛り上がり時間の経つのを忘れるほどであった。ボクシング部の再興には、種々の難しい問題もありますが「ボクシング部」再興実現を全員で願いながら散会した。今後とも、ボクシング部OB会の活動にご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



本校食堂にてのボクシング部 OB 会

前阪神タイガース監督

岡田彰布氏の講演会・慰労会開催

主催: 関大北陽高校硬式野球部OB会



関大北陽高校硬式野球部OB会主催で阪神タイガース前監督 岡田彰布氏の講演会及び慰労会が、平成21年1月17日(土)午後5時30分よりホテルグランヴィア大阪で開催された。

ご出席者は約200名で、当日はご来賓の関西大学理事長 上原洋允氏よりご挨拶いただき、その後も続いてご来賓各氏よりご挨拶をいただきました。



岡田彰布氏の講演の模様

第13回 関大北陽同窓会主催 ゴルフコンペ開催



山の原ゴルフクラブにて

●開催日／平成20年9月11日(木曜日)

●場 所／山の原ゴルフクラブ

兵庫県川西市山の原字下恋里12

(6,860ヤード・パー72)

●スタート／午前9時00分 OUT-IN同時

●組 数／20組(80名参加)

当日は、晴天で快適な秋空の下、ゲストに元阪神タイガース三塁手 三宅 秀史氏・元阪神タイガース外野手 室山 真之助氏・元南海ホークス外野手 横口 正蔵氏・イラストレーター 成瀬 国晴氏・KBS京都アナウンサー 久保 房郎氏等をお迎えし、総勢80名に参加をいただき、賑やかに競技が行われた。懇親会での表彰式では、同窓会 足立 宗央副会長の挨拶があり、その後 入賞者に数々の賞品が授与され、優勝者はゲストの大山一平氏がOUT37-IN32でGROSS 69の3アンダー回られ優勝カップと賞品を手にされた。ゴルフコンペ及び懇親会は盛会裡に散会した。



(記：昭和35年卒業 竜田 洋)

関西大学北陽高等学校同窓会 平成20年度同窓会協力募金の御礼 同窓会協力募金協力者名簿

卒業年度 S=昭和、H=平成

卒業年度順・敬称略
平成21年2月末日現在

卒業年度	氏 名								
元理事長	福武 道裕	S. 22年	廣瀬 荣一	S. 37年	村田 正明	S. 44年	長崎 勝一	S. 61年	松鶴 市郎
元教職員	大谷 宗平		中井 一清		前田 昌昭	S. 45年	国府島勇三		吉田 典生
元教職員	鶴田 雅裕	S. 23年	西佛 之光		吉木 栄次		北川 徹		松井 勝博
元教職員	松岡 英孝		武岡 昭夫		十時 良雄	S. 46年	小森 和信		田村 和照
元教職員	金澤 勇		捺本 忠次	S. 38年	岩本 博義		笠 忠夫	S. 62年	田中 豊一
元教職員	林 敏夫		粟田 文吉		辻井 宏		後田 栄治	S. 63年	中野 剛
元教職員	服部 舜一		三木 憲三		大野 健三		橋本 幸弘	H. 元年	田村 隆之
元教職員	棒谷 啓二		山本 智生		中谷 享	S. 48年	山本 武司	H. 2年	中西 輝数
元教職員	池崎真理子	S. 24年	寺西 克美	S. 39年	岡部 守隆		山下 雅二	H. 3年	兼田 昌彦
S. 8年	米倉 修一	S. 24年	松浦 勇		堀岡 宰充		森村 工		今井 博之
S. 9年	岡田 耕一	S. 26年	岡本 得三		中村 則雄	S. 49年	池田 勝一	H. 5年	横野 幸一
	藤田聰月生		神保 信行		宮脇 可典		山野 孝義	H. 8年	池田 隆司
S. 10年	今村 稔		大槻 正一		往田 雄三	S. 50年	内藤 昭一	H. 9年	前田 浩伯
S. 11年	福嶋 類夫	S. 28年	斎藤 勇		高垣 全晴		小池 修	H. 10年	山本 陽平
S. 13年	坂本 巍	S. 30年	高谷 貞男	S. 40年	平尾 栄		中尾 明	H. 11年	芥子 久倫
S. 15年	三木 正夫	S. 33年	神山 興三		三浦 啓闘	S. 51年	大崎 晴久		藤田 文俊
S. 16年	糸井 弘至		川村 隆彦		鈴木 道男		星野 謙		渡辺 万芳
	宇野 博之		木村 孝男		寺井 弘隆		岡田 彰布	H. 12年	杉本 宏樹
	佐野 良晴		小林 栄三	S. 40年	城島 末明		原 強	H. 13年	佐藤 亜矢
	芳仲 重一		丸山 一		森田 保幸	S. 52年	岸間 忠秀		北川 功
	西村 一男		石川 隆一	S. 41年	西田 和夫		龜井 哲也		永野 路博
S. 17年	菊野 良平		吉田 健		青木 達也		山本 修平		魚谷 知生
	北川 慶一	S. 34年	吉田 稔弘		松原 民郎		八木 知之	H. 15年	松山 優明
	藤滝 昇		入江 晃央		西本 太一	S. 54年	曾川 透	H. 16年	中田 繁介
S. 18年	奥田 正道		土井 忠喜		山崎 定男		吉井 寛	H. 17年	平井 克智
	辻谷 豊		西川 新一	S. 41年	喜多 憲治	S. 55年	北尾 稔	H. 18年	澤山 和行
	平野 正勝	S. 35年	有年 安永	S. 42年	佐渡 利任		小西 浩文	H. 19年	沖 昂哉
	真壁 和義		岡田 武志		足立 宗央	S. 55年	大前 敏朗		長沢 彰
S. 20年	田村 恒雄		童田 洋		栗原 貞雄	S. 56年	康村 則雄	H. 20年	池田 真也
	深谷 正晃		平岡 勇		寺田 賢作	S. 57年	杉本 秀央		神原龍之介
	三宅 敏博		山本 正明		米川 修二		高木 宣宏		小山 智成
	和田 昭一		永岡 一泰	S. 43年	種島寿一郎	S. 58年	南 孝明		横堀 勇貴
	荒木 俊夫		振津 和生		飯川 隆司		田中 一嘉		泉 賢
	田島 琢夫		吉谷 巍		内海 昭		山口 茂		柴田 駿介
S. 21年	岡本 修	S. 36年	前田 省三		鈴木 善治	S. 59年	中山 善允		上杉 達也
	山田 勝彦	S. 37年	十川 裕之		中向登美子		木村 秀治		岡 寛也
S. 22年	小瀬戸昇三		須上 勝久	S. 44年	利川 元善	S. 60年	尾田 正広		

関東支部だより

平成20年度 関東支部会が開催されました。



関東支部会出席者

20年度関西大学北陽高等学校同窓会関東支部会及び懇親会が平成20年6月14日(土)午後2時0分より東京丸の内のババミラノサビアタワー店において開催されました。

本部より神山会長、足立副会長にお出ましいただき、総勢9名が出席しました。

神山会長から母校の近況報告並びに第30回代議員の審議報告等が話され、会員との意見交換をし、支部会終了後は懇親会が開かれ和やかな雰囲気の中で終了しました。(記:国府島勇三)

■追悼

**同窓会関東支部長、
故岡部守隆氏のご逝去を悼み、
心からご冥福をお祈り申し上げます。**



在リル日の岡部 守隆氏



思えば10年前、野球部OB会の役員を務めておられた岡部先輩と初めて新橋「長崎」でお会いしました。散会しての二次会では「同窓会」の存在や氏がキャッチャーとして活躍されていた時のことや、「浪商」の尾崎投手の話題を交えて、熱く語っておられたのを記憶している。

そんな時、先輩は決まって、口を真一文字に閉じ、眼光が鋭いのに私は驚かされた。「わしは…」という一人称で語る質実剛健な自己主張を、未だに忘れないでいる。企業の第一線を退いて、支部長となられた。支部の「親睦会」では、準備から運営まで実際に気を配られ、お一人で支部を背負っておられるように感じた。責任感の強い先輩だった。後輩への気配りはOBになんでも「知・徳・体」を実践されていたように思える。残念なことに、鍛えられた肉体も病魔に勝てず、1月30日とうとう帰らぬ人となってしまった。安らかに永眠ください。

合掌

(記:関東支部 昭和43年卒業 内海 昭)

関東支部長就任にあたって



関東支部 昭和43年卒業
内海 昭

故岡部守隆支部長ご逝去につき、神山会長より「支部長をするように」と仰せつかった。

千葉県の私立中高一貫校の現役教員であるが故に、自由がきかない旨のことを申し上げたのですが、「それでも良い」ということで引き受けした次第です。

『東京支部』(関東支部の前身)期では、小林栄三前支部長に心骨を注いで頂き、大変なご尽力を戴きました。故岡部支部長には、野球部がらみで組織拡大を図って頂きました。諸先輩方のご功績を継承しながら、本部との密なる連繋をとり、支部を活性化していきたいと考えています。

関西大学北陽高等学校となった今、教職員一丸となって少子化の時代を乗り越えねばならない。生徒と保護者は顧客であり、以前にも増して懇切丁重に「教育」していくなければならないと切に感じています。僭越ながら関東支部から母校を見つめていきたいと思います。



定年退職される職員の方々

北陽のよさを失わずに
頑張ってほしい

本校教員 佐野 正史



昭和48年4月に福武学園北陽高等学校への勤務が始まり、今年の3月で関西大学北陽高等学校を63歳の定年で退職することになりました。この間36年、何とか大過なく勤めることができたのではないかと思います。私の勤め始めたころは、労使の対立が厳しかった時期で、春闘が年を越えて闘われたり、PTAが教職員側にたって授業料不払い運動をおこしたこともあります。今では懐かしい思い出となっています。退職となる今年は関西大学の併設校となり、これまでの男子校から男女共学となるなど、大きな変化の1年目を体験することができました。私は北陽のよさは、自分は自分の部署を中心と頑張り、他の人は他の人の部署で頑張っている、そのことをお互いに認めあって、全体として北陽のために頑張っている、また頑張っていこう、という気持ちを底辺に感じられる職場だと思ってきました。関西大学の併設校となったこれからも、私学を巡る厳しさは、まだまだ続くと思いますが、北陽のよさを失わずに頑張っていってほしいと思います。

振り返る39年間の思い出

本校教員 長谷川 清和



平成21年3月末をもって、定年退職することになりました。北陽高等学校に38年間、関西大学北陽高等学校に1年間、計39年間の教職に終止符を打ちます。縁あって北陽高等学校に数学の教師として赴任したのは昭和45年4月、世は大阪万国博覧会で沸き、日本はこれから高度成長の坂道を駆け上ろうとする時代でした。北陽高校は春の選抜高校野球で準優勝という快挙をなしとげ、その晴れやかな余韻が漂っています。生涯の仕事に教師を選び、その夢をかなえさせてくれたのがこの北陽高校でした。三雲校長はじめ諸先輩の先生方、何も分からぬ未熟な若者に温かいご指導、また援助をしていただき、何とか大過無く(小過は数えきれなくありました)、今日定年をむかえることができました。このことを大変感謝し厚くお礼申し上げます。また、同時に今まで共に仕事をし、支えていただいた同僚の先生方にも厚くお礼申し上げます。さらに遅くなりましたが、未熟な私を教師として温かく受け入れてくださった同窓生の皆様にも厚くお礼申し上げます。私が大したことばなしを知らないかも知れませんが、多少なりとも学ぶ点があれば教師冥利につきます。欠点はこれまた反面教師として、心の糧としていただければ、これに勝るものはありません。振り返りますと39年間の思い出は多々あります。いろいろと思い浮かびます。今後の生活の支えとして心に留めておきたいと思います。皆様のご多幸と関西大学北陽高等学校の発展をお祈り申し上げます。

ご紹介します!

ご存知の方も多いと思いま
すが、昭和51年卒業の岡田彰
布さんが出版された『頑固力』
を紹介させて頂きます。

岡田さんは「大の阪神ファン」
で、タイガースのために生まれ
てきたと言つても過言ではありません。母校「北陽」を経て入
団する予定ではなかったようで、
明星中学・高校そして早稲田
からタイガースが、彼の道一筋だったようです。

しかし「北陽」との出会いがあったからこそ、記憶にも記
録にも名を残し、再度監督として活躍する人と確信していま
す。野球部OBとしてだけでなく、多忙な遠征先からの会報
原稿協力に人柄が表れていると思います。

そんな岡田さんが書き下ろされた『頑固力』です。ぜひ
購読をお勧め致します。

[出版 角川SSC新書 定価760円+税]

広報担当 足立宗央



ご逝去され、
今年度ご家族・ご友人から
ご連絡いただいた会員。
ご冥福をお祈り申し上げます。



卒業年度順、S=昭和 平成21年2月末日現在

S.6年卒業	左海 茂様
S.14年卒業	小阪 健一様 大屋敷 範明様
S.17年卒業	伊藤 博様 北秋 一様
S.18年卒業	黒田 好雄様
S.20年卒業	富田 実様 西川 享様 和田 昭一様
S.21年卒業	平工 照雄様 井上 三二様
S.23年卒業	乾 清様 佐々木 清様 宮島 和男様
S.25年卒業	川口 重夫様
S.26年卒業	尾崎 繁様 畠 孝男様 清水 昇様 休井 輝男様
S.35年卒業	飯田 智様 矢谷 志郎様
S.37年卒業	川上 幸夫様 中村 健次郎様
S.39年卒業	実安 敏男様 岡部 守隆様
S.40年卒業	清水 和夫様
S.42年卒業	福井 明様 松井 栄作様 鎌田 和秀様
	木下 幸一様 竹本 謙一様 木村 一記様
S.45年卒業	脇本 次郎様 宇都宮 常夫様 瀬戸口 義則様
S.52年卒業	名古 全弘様



校歌

作詞 横山
牧野 藤吾
作曲 牧野
卓央

一、漲る水の大淀川の
光も清く曳くところ
浪速若子と名を負いて
契りを結ぶわれらが北陽

二、庭壇に繁る雑草に

古き歴史は七ぶとも
高き匂いに咲く花の

文化の都興さずや

三、湊を洗う海潮の

続く世界に目を開き

流れで止まぬこの

水に世紀の魂を磨かずや

編集後記

校名が改称されての記念の第1号です。今回は発刊にあたり、代議委員会で広報委員をお願いしたところ申し出があり、編集に参加して頂きました。

定番特集として、昨年開催された「還暦同期同窓会」を組み入れました。

定番紙面以外に「在学中の思い出」、「恩師を語る」、「恩師の近況」「退職される恩師の思い出」、「ご紹介します」等を掲載してみました。

次回号からは皆さんからの寄稿(企画)で紙面づくりを進め、母校と同窓同士を繋ぐための機関紙になれるよう期待しています。特に、「ご紹介します」欄は皆さんからの「情報発信」欄として店舗紹介等に、ご利用していただければと考えています。皆さんからの寄稿をお待ちしております。

広報委員会

竜田 洋(昭和35年卒)	足立宗央(昭和42年卒)	内海 昭(昭和43年卒)	中尾 明(昭和50年卒)
藤田健司(昭和52年卒)	西澤宏之(平成4年卒)	淵田直樹(平成18年卒)	西岡瑛司(昭和46年卒)